

日本初

複数事業者のプローブ情報を 総合化するリアルタイム実証実験

従来

道路に設置された
感知器からの情報

都道府県警察

道路管理者

JARTIC

補完・補強

VICS

VICS情報

FM放送局



実証
実験

事業者が保有している
プローブ情報から作成した交通情報



プローブ情報



プローブ情報



プローブ情報



プローブ情報



VICS

総合化

総合化交通情報

FM多重放送



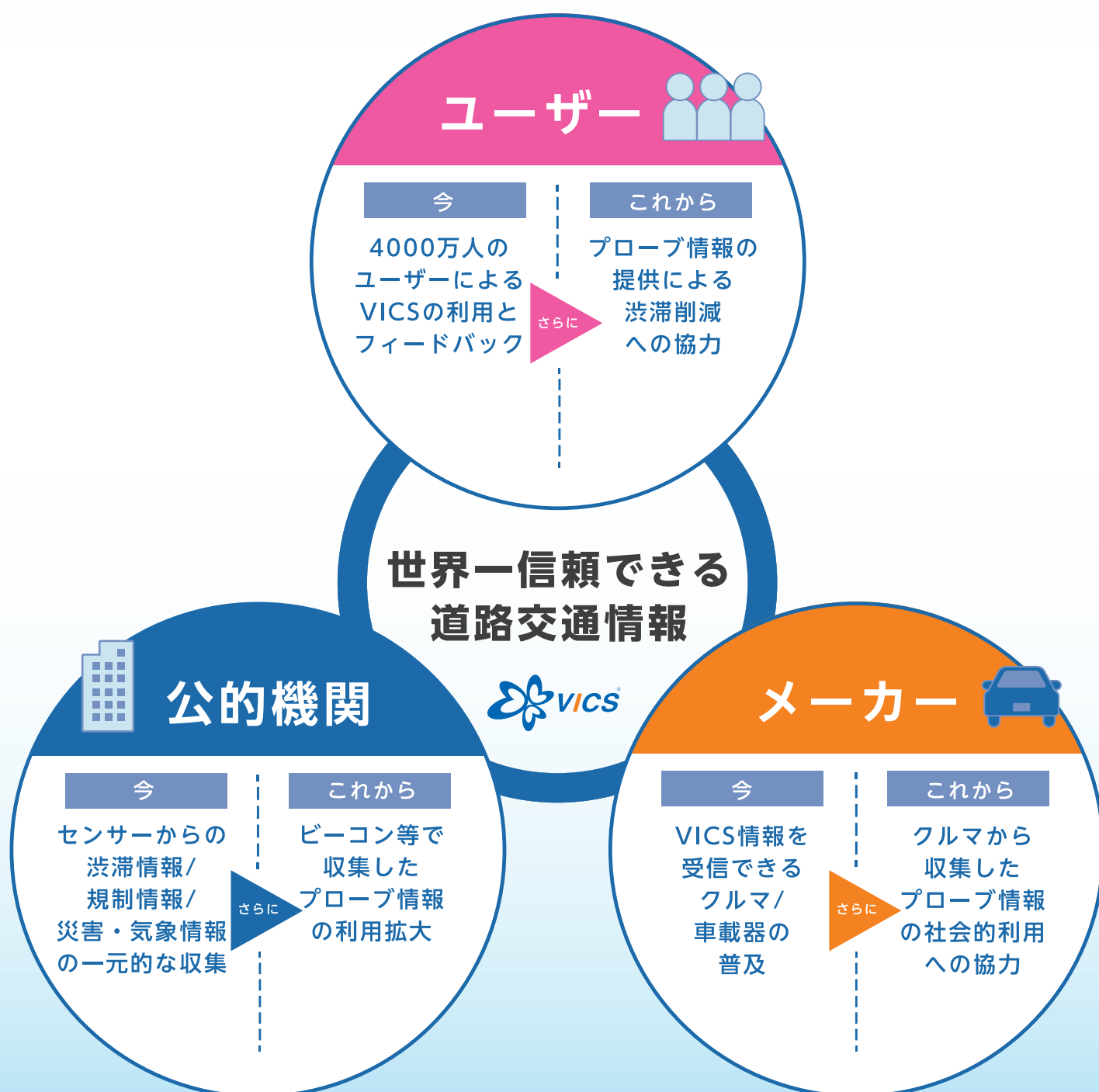
VICS対応
カーナビ

※プローブ情報とは走行している車から収集される【時刻】【位置】【速度】の情報で感知器が設置されていない道路の情報も収集可能

「世界一信頼できる道路交通情報網」をめざして VICISの挑戦

VICISは、世界一信頼できる道路交通情報網の実現を目指しています。
公的機関 / メーカー / ユーザーによる強固な協力関係のハブとして、
道路交通情報網のこれからを構築していきます。

■三者の連携■



VICSの情報活用の進化

過去
1996～

インフラからの情報に
基づく提供
(30万機の感知器)



現在
2015～

個別のプローブ情報の活用
(タクシープローブ)



未来
2020～

すべてのプローブ情報の総合化
(民間プローブ、光ビーコン、ETC2.0)



■ユーザーと社会への提供価値■

- ▶ 渋滞の大幅な軽減と、CO2のさらなる削減
- ▶ 自動運転の本格的な到来に備えた、
精緻な道路交通情報網の構築
- ▶ 災害大国・日本として必要不可欠な
安定かつ正確な情報提供

2020年に、東京を含む首都圏で 民間プローブ情報活用の実証実験をスタート

■東京を含む首都圏での民間プローブ活用による効果■



東京都を含む1都6県6.0万kmの道路^{※2}のうち、
現在のインフラ等の活用によって情報が提供されている
道路は全体の30%あまり。
民間プローブ情報を活用することで、70%^{※1}にまで拡大。

※1: 効果を最大に得られる場合。VICSセンター調べ。※2: 高速道路、国道、都道府県道等

まずは首都圏から、そして日本全国へ。

「世界一信頼できる道路交通情報網」へ
VICSの挑戦にご期待ください。